

脱オタク系 ステキだし爽やか ファッション講座

By taka

今回のテーマ

WARM BIZ

WARM BIZってなんぞや？

- 環境省の推進するキャンペーン
- COOL BIZの秋冬版
- 暖房温度は20℃設定がお勧めらしい
- チーム・マイナス6%の一環
- 省庁のやることにしてはなかなかいいのではないかと

今回とりあげるアイテム

- コート
- ニット
- マフラー
- グローブ(手袋)

ではコートから

● 型

- ステンカラー
- チェスターフィールド
- トレンチコート
- Pコート
- ダッフルコート
- インバネス
- コートではないけどダウンジャケット

● 着丈は3段階位

- ショートコート 腰丈
- ハーフコート 腿丈
- ロングコート 膝丈

ステンカラーコート



バルカラーコートとも(襟の形)
通常のジャケットとは違い、下襟よりも上襟のほう
が大きい

通常ボタンホールは打ち抜きではなく比翼仕立て
(ボタンホールの上に生地をかぶせボタンを隠す
こと)であることが多い

第一ボタンのみを外しネクタイをちょっと見せるよ
うな着方をすることが多い(もしくはマフラー)

ちなみに左の写真は英国のMackintoshの
FENWICK(フェンウェック)というモデル
参考上代 ¥93,450

Maid in Scotlandです

チェスターフィールドコート



通常のジャケットをコートにしたようなのがチェスター

胸があいているのでちょっと寒いかも

ボタン数もデザインによりけり

首元にもボタンがあって止められるモデルもある

ちなみにダブルもあります

素材はウール、アンゴラ、カシミア等獣毛で作られる

丈は長めのものが多いかも

トレンチコート



皆さんご存じトレンチコート
バーバリー、アクアスキュータムのものが有名で
すね。

素材はギャバジンと呼ばれる防水加工をしたコッ
トン地が多いです
しかし最近ではウールもあったり(若干安っぽく見え
ますが)
素材が素材なんで重いです

もともと軍用故かなり丈夫で多少の雨も平気です
(防水加工しているから当然ですが)

なお、シングルもあります

Pコート



ちょっと可愛いPコートです
さまざまなブランドから出ていますが大人であれば少しこだわったブランドを選びたいところ

写真のコートは英国のGloverallのもので
なお、このブランドはダッフルでも有名です
Maid in England

丈は短い(腰が隠れるくらい?)です
それよりもさらに短いのもあったり(もはやジャケット)

こいつも元々は軍用
英国海軍が使用していました(有名ですね)

ダッフルコート



これもまた可愛いダッフルコートです
元々は漁師が着ていたそうです

最大の特徴は手袋をしていても留められるトグル
ボタン

素材は木や動物の角などで作られます

生地はウールを圧縮させたメルトンと呼ばれる厚
い生地です

日本だと学生がよく着ていますね
なかなかうまく着こなすのは難しいかもしれませ
ん

なお写真は先ほどのPコートと同じく英国
Groverall製のものです

インバネスコート



すいません、いい写真なくて^^;

シャーロック・ホームズが着用していることで有名
とのこと

日本じゃほとんど見ませんね

日本だと”二重まわし”とか”二重マント”とか”とん
び”と言われているそうです
主に和服に合わせてとか

ちなみに袖はありません

ダウンジャケット



一口でダウンジャケットといっても形はいくらでもあって…

スーツに合わせるなら丈はちょっと長めの方がいいかもしれません

しかし、電車の中が…
脱いでも嵩張るし…

ダウンを選ぶ場合は軽量でちっちゃくまとめられるものの方がいいでしょう
あとフィルパワーという数値をちょっと見てください

ニット

- まずはニットのベストなんかはいかがでしょう
- Vネックのセーターなんかも良いですね
- 定番はカーディガンですね
- カジュアルさを出そうとするとラム・ウールとかがいいかも
- 逆に上品さを求めるときは目の細かいメリノウールが良さそうです
- 色はグレーとかではなくボルドーとかを選んじやいましょう

マフラー

- 紳士の使うマフラーはシルクかカシミアでないと言うとか言わないとか
- カシミアの場合は無地で(でも軽いストライプは上品ですね)
- 黒じゃなきゃダメとは言いませんが黒があるといいと思います(フォーマルな場でも使える)
- シルクの場合はマフラーではなくスカーフですね
- ペイズリーとかトラディショナルな柄を選びましょう
- 最近のお勧めはJohnstonsとDRAKE'S
- 高いですがね・・・

グローブ

- 実はそんなに知らないんです^^;
- とてつもなく高いですがお勧めはDENTS ペッカリー(猪みたいな動物)で出来たグローブは一生ものです
- 紳士の持つべきグローブはペッカリーかゴート(山羊)だとか
- サイズに関してはなかなか難しいです
- オーダーをやっている店もあるのでそれもあり

デンツのグローブ



なんと¥40,000を超えます^^;
さらに指は短め

僕には合いませんでしたが着け心地は最高です

ライニングなしとカシミアライニングの2種があります

ちなみにペッカリーは表皮に3本ずつ並んだ特徴的な毛穴があります

終わり

- 本当は小物をもうチョイやりたかったのですがコートメインになっちゃいました^;
- 生地がどうか色がどうか柄がどうかいいましたが次回あたり取り上げたいですね(あればですが^;
- 今回参照したページ
英国ブランドショップ UKism
<http://ukism.net/>
Wikipedia
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AA%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%88>